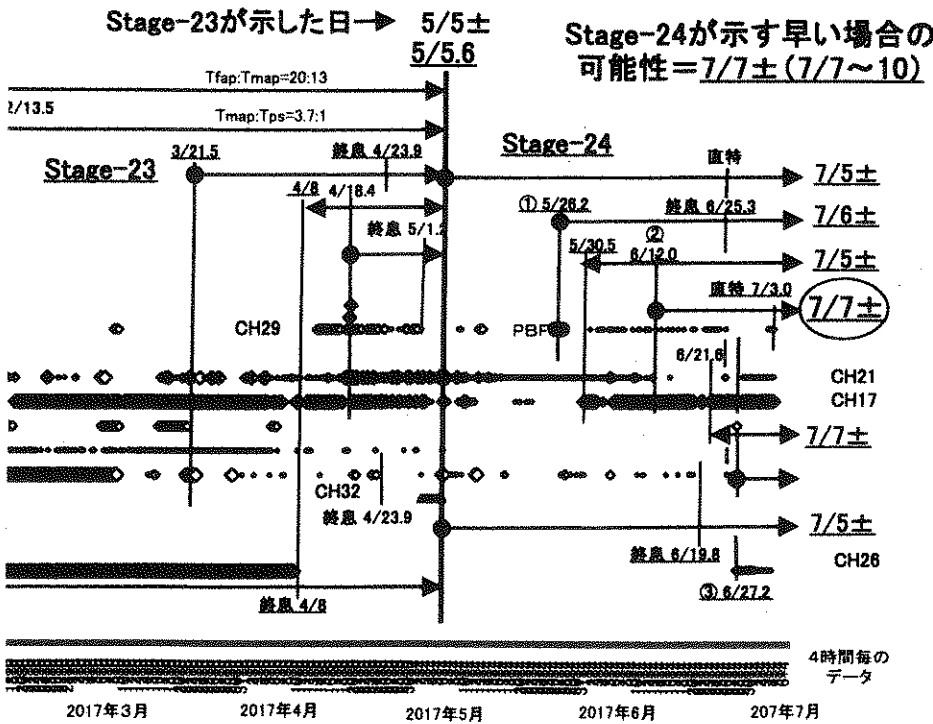


原稿校了後の前兆変化について

ハッ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778長期前兆現況報告 6/27極大 7/4~6 終息の場→7/7~10発生



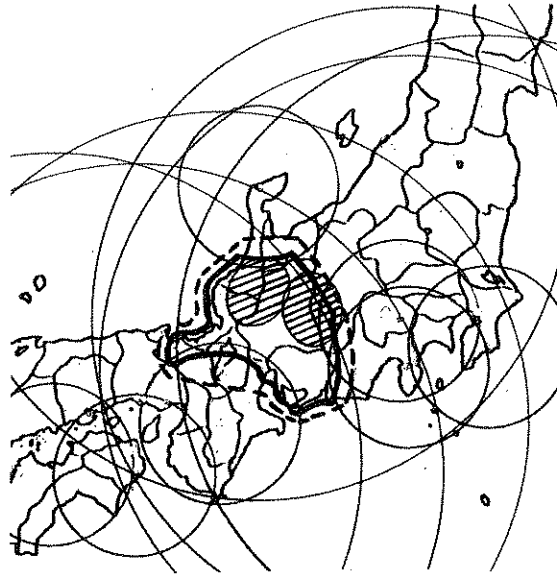
No.1778長期継続特殊前兆の続報現況報告。
第24ステージ認識の現在、6/12極大が最終と考えておりましたが、6/27.2にCH02に特異が出現し、ほぼ同時刻から静穏傾向にあったCH21に弱い特異変動が継続出現する様になり、また静穏だったCH26に連続的に特異前兆が継続出現する様になりました。CH17は6/27の午前中に静穏基線が出現し、再び糸状特異継続。
このことから、6/27.2±に極大認識ができます。現在継続中前兆=CH17, 21, 26の3モニターですが、これら3モニターの前兆は6/27.2極大に対する前兆終息時期まで継続出現する可能性が示唆されます。

仮に6/27.2極大が最終極大であり、現在が最終段階である場合は、上枠内に列記したとおり7/4~6 期間中に前兆終息が観測される可能性があります。仮にこの期間中に全前兆が終息した場合は上枠内右側時期に発生推定。

但し、現在考え易い7/7~10は第24行→が示す時期であり、前兆が完全終息した場合は対応地震発生。完全終息しない場合は第25行→に移行する可能性も有。

6/25、No.1778推定領域内である長野県南部(御嶽山近傍)でM5.6地震(気象庁暫定値)が発生致しました。この地震に対し、前兆極大6/21、推定規模M5.6±0.5、推定発生日6/26±2として前兆検知に成功しておりますが、K6に観測された伊豆100w局BFと新居浜100w局BFによる検知領域-円重複領域=推定領域に対し、震央がギリギリでした。ド-円を求める式の係数R値を若干修正した方が良い可能性があり、従来のR=240~750をR=220~800と修正した方が良好の様様。

左図はR=~800として作成。No.1778前兆は火山近傍の可能性が示唆されるため御嶽・乗鞍火山領域と白山火山領域周辺を参考までに斜線として記しました。



- ◆推定領域: 左図
点線領域内=大枠推定領域
太線領域内=可能性考え易い領域
(斜線領域付近=参考: 火山近傍域)
※火山近傍領域の可能性示唆される
※影響局の組合せでは福島領域周辺の可能性も出るが辻褄が合わない
前兆有。左図領域の方が考え易い
- ◆推定規模: M7.8±0.5
- ◆推定時期: 前兆完全終息確認必要
7/4~6 前兆終息の場合=7/7~10発生
※7/7以降前兆継続の場合は再考
- ◇推定地震種: 震源浅い日本列島地殻
- ◇推定発生時刻: 午前9時±1時間
又は午後6時±3時間